

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和4年6月号

◇ 行事報告 ◇

5月18日（水）摩利支天月例祭

新型コロナウイルスの感染もやや減少してきました。とはいえ400人前後の感染者が確認されており、今月も本堂で摩利支天の月例祭を執行させて頂きました。一日も早い収束を祈念するばかりです。

このような苦難の日々を過ごしている訳ですが、日蓮聖人のお言葉に「けわしき山 あしき道 つえをつきぬればたおれず（4月の聖語）」とあります。「けわしき山 あしき道」とは当に今の世情を言われているようです。

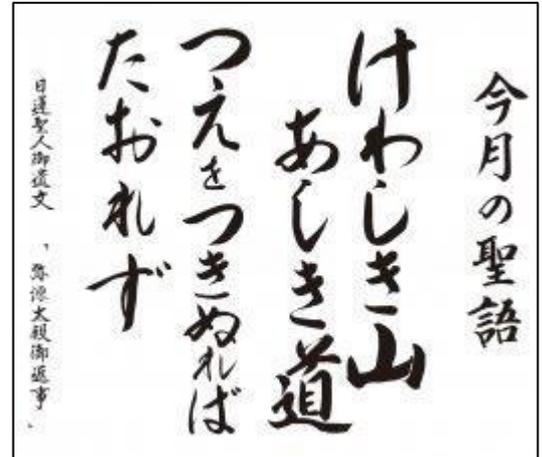
このような時はあせって行動したり、人の言葉に左右されたりします。テレビやS

NSでも「〇〇になるようだ」といった風評が沢山見受けられます。真実もあれば煽るだけのものも多くあるようです。

ではどうすれば良いのでしょうか。

「つえをつきぬればたおれず」の文言です。杖とは「法華経」の事です。

信心を強く持つということは人の言葉に迷わされないということに繋がります。また、今年五黄土星の年ですから、良くも悪くも精算に向かい、新たな取り組みが始まることとなります。変化が起きるということです。とは言っても全く逆に進むことはありません。足下をしっかりみて、すべきことは何かをゆっくり考えて行動し、信仰に照らし合わせて進んで行くことが「倒れない」歩みとなるのです。





さて、昨年もご紹介させて頂きました、「安楽行品」の石碑（満願成就日蓮大菩薩像の北側）ですが、本堂の階段右脇に移動させて頂きました。正面に移って、より見やすくなっております。

安楽行品第十四には『いかなる困難に遭遇しようとも、いかなる苦境に立たされようとも、いつも安らかな心で、自ら願って真理の道を歩む。』という仏の道の心構えが説かれています。

コロナ禍であり、落ち着かない日々と思われませんが、法華經に親しんで、心穏やかに過ごされますことを祈念申し上げます。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

7月18日（月・祝）海の日・8月18日（木）、9月18日（日）午前10時より執行いたします。当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

◎ お盆棚経のご案内

7月に入りましたら、お盆棚経のご連絡をさせて頂きますので、宜しく申し上げます。

◇ 近況 ◇

今年も紫陽花の花開し、心を和ませてくれています。

皆様、引き続き、手洗い・うがいを励行して、お体ご自愛のうえお過ごし下さい。

合 掌

